

# 三中だより

令和元年度 11月号



令和元年11月7日発行  
荒川区立第三中学校  
(学校通信 No. 10)

作成者 校長 清水隆彦

## 校舎を吹き抜ける汐入の風

校長 清水隆彦

10月に入り、輝夕祭に向けた朝練習が始まると、校舎のあちこちから合唱の歌声が響いていました。これはまるで隅田川の風が汐入の街を通り、校舎内を吹き抜ける風のようにもあります。毎年、教員になってよかったと実感できる瞬間です。2学期の始業式では「今学期は、合唱コンクールに懸けている」と話しました。それは単に合唱が上達する事だけを指すのではなく、優勝を目指して各学級で努力する姿勢、課題を解決するために苦勞する過程が重要でその頑張りを期待するということでした。

2学期の大きな行事の一つである輝夕祭及び合唱コンクールが無事に終わりました。どの生徒の顔も舞台上での立ち振る舞いも、この1年間の成長を感じさせるものとなりました。コンクールではどうしても順位がつかますが、例え思うような結果にならなかったとしても一つの事をやり終えたという成就感を感じ、自信に満ちた表情をする生徒1人1人の様子は、一段階成長したことを実感させてくれます。戦いが終わればノーサイドです。お互いの健闘をたたえ合うことでコンクールが終了しました。

13年前、それまでの文化祭という名称を「輝夕祭」と変えました。教育目標である「人間として輝く」の「輝」、そして「汐」は汐入から、また、その読みは軌跡を残し、奇跡に結びつくようにという意味を込めて当時の教職員が話し合っただけで決めました。生徒を大きく育てた真剣勝負が終わりました。次は11月27日(水)に行われるマラソン大会です。自己ベストに向けた頑張りには期待します。必ず汐入の風が後押しするはずですよ。

## 令和元年度 輝夕祭(舞台発表の部)終了(10/26)

10月26日(土)に令和元年度 輝夕祭が行われ、多くの保護者、地域の皆様にご来校いただきましたことに厚く御礼申し上げます。舞台の部と展示の部を分けて4年目となりました。舞台発表の準備にしっかりと時間をかけ、完成度の高い見応えのある輝夕祭となりました。

輝夕祭当日は、開会式に続き、各学年から宿泊行事のまとめ発表をしました。スライドあり、寸劇等があり、漫才ありで工夫を凝らした発表となりました。また、英語科からは区のコンテストに参加する代表生徒によるスピーチが披露されました。英語部からは、勘違いEnglishをスライドを交えて発表しました。その後、荒川区に唯一の箏曲部がジブリメドレーを披露し、美しく安定した音色が光りました。美術部のストップモーションアニメは、制作に多くの時間を費やしたことと思いますが、細かな動きの表現も大変見事でした。また、毎年恒例となった防災部の発表では、この夏休みに実施された釜石市等被災地派遣に代表として参加した2年生の江森 翼君、飯野愛央さんがスライドを交えて報告し、被災地での体験を広く伝えることができました。昨年度より始まった書道部の舞台での書道パフォーマンスは躍動感にあふれ、立派な「笑」という文字を仕上げました。



【美術部作成看板】



【箏曲部】



【1年生清里移動教室報告】



【2年生下田移動教室報告】



【3年生修学旅行報告】



【書道パフォーマンス】

午前の部最後は、吹奏楽部による力強く聴き応えのある演奏が響きました。完成度の高い音色、音の厚みが増し、質の高い演奏を披露しました。



【書道部、見事な作品の完成】



【代表生徒英語スピーチ】



【英語部の発表】



【防災部代表被災地訪問報告】



【美術部ストップモーション】



【力強い吹奏楽部の演奏】

午後の部では、緊張感あふれる合唱コンクールが行われました。夏休みのピアノ伴奏者の練習から始まり、何ヶ月もかけて合唱コンクールに向けた準備を進めてきました。

合唱コンクール実行委員を中心に、合唱練習では学級がなかなかまとまらない、思うようなハーモニーにならないという焦りや様々な試練があったことと思います。

コンクール当日は、たくさんの苦勞、工夫を乗り越え、力を合わせて見事な合唱を聴かせてくれました。「歌う三中を目指す」を学校経営目標の柱に据え、1回目の輝夕祭から推奨してきましたが、年々確実に実力が向上しているように思います。合唱のレベルの高さに手応えを感じたのは私一人ではなかったと思います。当日の様子につきましては、多くの保護者、地域の皆様に参観をいただき、学年に応じた力の入った合唱をお楽しみいただきましたものと思います。

輝夕祭の最後は、保護者の皆様によるPTAコーラスが披露されました。今年は70名を超える多くの皆様にご協力いただきました。戦い終えた生徒にほっと一息つける完成度の高い見事な合唱でした。

今後、輝夕祭展示の部は、令和2年1月18日（土）の土曜公開日から始め1月24日（金）まで開催させていただきます。重ねてご来校をお待ちしております。



【大迫力の美しいPTAコーラス】

**令和元年度 輝夕祭合唱コンクール審査結果**

- 第1学年…金賞E組 , 銀賞B組
- 第2学年…金賞A組 , 銀賞D組
- 第3学年…金賞A組 , 銀賞E組

**指揮者賞**

- 第1学年…磯貝 優里 (E組)
- 第2学年…杉本 祐音 (C組)
- 第3学年…八木橋 奈菜 (D組)

**伴奏者賞**

- 第1学年…松井 心晴 (E組)
- 第2学年…八下田 和佳 (C組)
- 第3学年…水野 明咲 (C組)



【表彰式・3年生金賞 A組】



(1年金賞 E組)



(2年金賞 A組)



(3年金賞 A組)

### 合唱コンクールを振り返って

音楽科 主幹教諭 榎本 秀子

今年度の合唱の授業では、音の響き、音程、強弱、速さ等技術的な要素を重視して練習しました。各パートの音程や動きは、楽譜を見て理解し、自分のパートの役割とその他のパートとの関わりを学習しました。また、合唱を聴いてくださるお客様に思いを伝えるために必要な技術的要素を考え、より自主的な活動ができました。合唱講師の先生方からは、響き・言葉のリズム・抑揚・発声等のような歌い方をすればより聴きごたえのある合唱となるかを学びました。放課後に行った合唱の練習期間には、体育館、音楽室や各教室から歌声があふれました。

クラスでは実行委員を中心とし、歌詞の内容から聴きどころ、曲の抑揚をどのように表現するか、積極的に話し合う姿が見られました。また、響きのある歌声を出すために、合唱の練習とともに屈伸運動やリズムに合わせて体を動かす等、工夫しているクラスも見られました。

合唱コンクール本番が近づくにつれ、緊張感がどんどん増していきました。学年練習やリハーサルでは、充実した歌声が響く一方、気負いが感じられることもありましたが、指揮者・伴奏者が一生懸命に思いを伝え、強弱や抑揚、声の響き等を工夫して練習するクラスがたくさんありました。

本番では、大勢のお客様の前で充実した合唱を発表することができました。今後とも、授業で積み重ねた取組をクラスでの練習に生かし、より白熱した合唱コンクールをめざし、取り組んでいきます。

## 荒川税務署、税理士会の方々による「租税教室」開催（9/10、11）

社会科教諭 浅香 潤一

9月10日、11日の2日間で、3年生を対象に公民の授業の一環で「租税教室」を実施しました。講師には荒川税務署や税理士会の方々をお招きして、専門的な立場から授業をしていただきました。授業内では1億円の重量を体験したり、映像教材で「税金がない世界」を見てみたり、身近で使われている税金について学びを深めることができました。生徒の中には、税金を納める重要性を理解する生徒もおりました。消費税が値上がりする前で、生徒たちも興味・関心の高い内容となり意欲的に取り組んでおりました。



## 令和元年度「放置自転車ゼロをめざして」ポスターコンクール表彰式（10/21）

10月21日（月）に令和元年度「放置自転車ゼロを目指して」ポスターコンクールの表彰式が行われました。本校2年生 正久 莉愛さんの作品が中学校の部でトップ賞である最優秀賞を獲得し、西川区長より表彰していただきました。また、表彰者を代表してポスター作成のねらい、工夫した点について発表しました。また、ケーブルテレビのインタビューにもしっかりと答えしていました。⇒作品の前に立つ正久さん



## 清里移動教室無事終了（10/2～4）

第1学年 清里移動教室担当 教諭 矢島 和澄

今年度は10月2日～4日の2泊3日で、山梨県にある清里に行ってきました。10月という少し学校生活に慣れ始めた2学期に、1学年にとっては初の宿泊行事でした。各クラスの前期学級委員による清里移動教室実行委員を立ち上げ、放課後も遅くまで残って集まり準備に取り組みました。今年度のスローガンは、1学期の学年の反省を踏まえ、「メリハリちゃんとまとまるくん」に決定しました。設定した背景には、授業と休み時間の切り替えがなかなかできない、クラスでまとまれても学年として行動する場面ではまとまりに欠けるということがありました。このスローガンのもと、ひとつの学年行事を成功させようと学年一丸となって頑張りました。

【1日目】朝早くから多くの保護者の方に見送られ、学校を出発し青木ヶ原樹海に向かいました。各クラス男女別に分かれて、グループごとにネイチャーガイドさんの話を聞きながら樹海探索をしました。東京では味わえない自然の偉大さを感じ取ることができました。夜はレク大会を行い、ドッジボールやしっぽ取りなどの競技で各クラスの親睦を深めていました。



【校庭での出発式】



【富士の樹海探索】



【コウモリ穴入洞】

【2日目】午前中は、マス釣り体験と押し花クラフトを前半と後半に分けて体験学習を行いました。マス釣りでは、魚を釣ってさばき、食べることで命の大切さを感じ取ることができた生徒もいたようです。押し花クラフトでは、輝夕祭で展示されるということもあって、作品づくりに一生懸命取り組んでいました。夜は、雨天が心配されたため、1グループを宿舍外周散策、残り3グループを室内のレンジャートークという形で行いました。生徒たちはレンジャーさんの話を食い入るように聞き、興味津々なようでした。



【盛り上がりをもせたレク大会】



【マス釣り体験】



【押し花クラフト】

【3日目】ぶどう狩りを行いました。生徒はお土産のぶどうを1房狩り、試食体験のぶどうをおいしそうに食べていました。



【オリエンテーリング】



【ナイトハイク】



【ぶどう狩り】

3日間をとおして周りへの声掛けや配慮、集団行動への意識を高めることができました。この3日間ですること・できなかったことを今後の学校生活でも「行事を行事で終わらせない」よう活かしていってほしいと思います。保護者の皆様にもご協力いただき、無事に終えることができました。本当にありがとうございました。